

- 1 研修会名 令和元年度（2019年度）学校司書実践研修
- 2 主 催 熊本県立教育センター
- 3 実施期日 令和元年6月3日（月）
- 4 実施会場 熊本県立図書館 3階大研修室 他
- 5 参加者 熊本県内の県立及び市町村立諸学校の学校司書で経験年数が3年未満の者他 計16名
- 6 研修概要

(1) 研修Ⅰ「県立図書館の業務見学」（10：00～）

…県立図書館の指導主事から、公立図書館の役割、県立図書館の構造や資料、利用方法などについての説明を受けたあと、3階第2閲覧室、2階第1閲覧室、1階子ども図書室、BM（ブックモービル）書庫を見学し、それぞれの場所で司書や担当職員からの説明を聞きました。特に、BM書庫では、一括貸出事業ではどんな本が借りられるのかを実際に確認することができ、貴重な体験となったようです。



〈図書館見学の様子〉

(2) 研修Ⅱ「学校図書館の意義と司書の役割について」（11：00～）

…県立図書館指導主事から、学校図書館の役割について法的根拠に基づいて講義が行われました。「学校図書館の目的」「学校図書館に携わる教職員」「学校司書の役割」「学校図書館の運営にあたって」の5つの項目の内容に分けてあり、学校司書が職務を行う上での基礎的となる重要な研修でした。特に、学校の中では「図書館」と呼ぶべきか、「図書室」と呼ぶべきかの話や、「学習指導要領の改訂」の話など、これまでの疑問を解消し、さらに今後の職務に生かせる研修が行われました。

（昼食、休憩）

(3) 研修Ⅲ「学校図書館における活動について」（13：00～）

① 学校図書館運営の基礎的事項

県立図書館の司書から学校図書館の運営において悩みの多い「選書」と「レファレンス」、「防災」についての講話が行われました。「選書」については、まず、各学校の現在の方法や廃棄も含めた基準について情報交換を行い、一般的な選書基準の紹介や学校と図書館での選書基準の違いなどについてお話がありました。



〈レファレンスについての講話の様子〉

その後、「レファレンス」と「防災」についての講話も行われました。「レファレンス」については、レファレンスとは何かという基礎的な内容から、司書がレファレンスをする意義、レファレンスインタビューの方法など、より実践的な内

容での講話が行われました。また、「防災」については、書架の形による蔵書の転倒を防ぐ方法など、基礎知識を学習できました。

② 演習（レファレンス演習）

二人組のグループに分かれ、県立図書館の機能を使い、蔵書や資料を探すという演習が行われました。午前中から午後にかけての講話を実践する形の演習です。「元号と諡（おくりな）の違い」から「方位磁針のつくり方」など、レファレンスの機会が少ないと



〈協力して答えを探している様子〉

いう学校司書の方も多く、体験を通して学ぶことができたことは有意義なことだったと思います。最後には、各班のレファレンス過程を発表してもらい、どのような調べ方があったのかを全員で共有ができました。

③ 情報交換

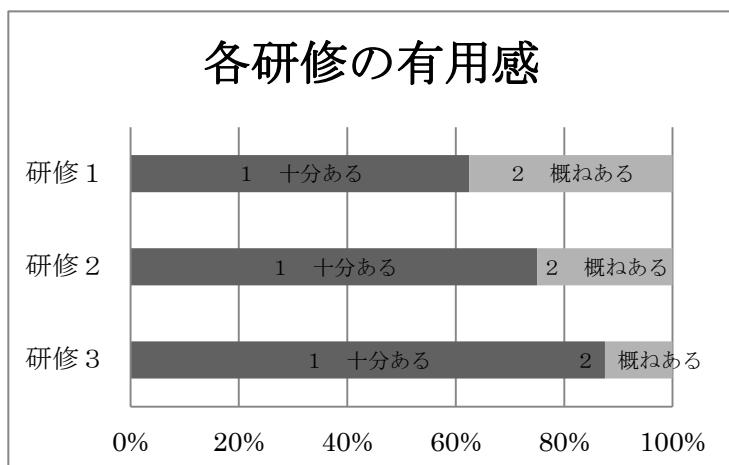
校種ごとの5～6人グループにわかれ、それぞれの学校図書館で困っていることや悩んでいることをお互いに共有し、解決策を探す情報交換会を行いました。各学校から、「蔵書点検」のやり方や時期、図書室での子どもたちへの対応、先生方との情報交換の方法など、学校図書館司書として今抱えている悩みを参加者みんなで考えることができました。

(4) 閉会（16：00～）

- ・諸連絡・アンケート記入

7 アンケート結果及び感想

○ アンケートの結果

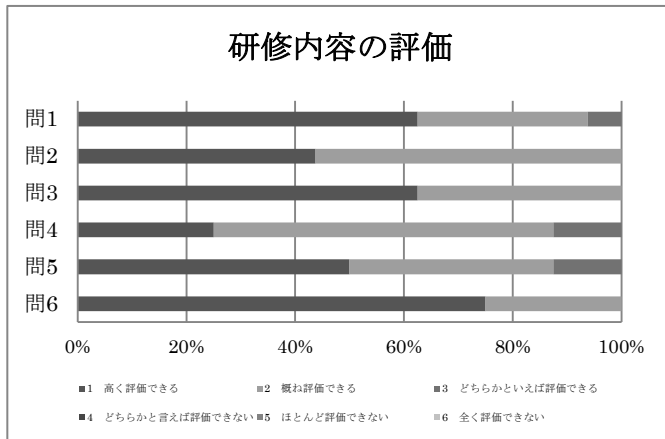


研修1～3、全ての研修において、有用感が「ある」という回答をいただきました。特に研修3については「十分ある」との回答が80%を超えており、レファレンスの実践や、他の司書の方々との情報交換は、効果的であったと考えられます。

高い評価ではありますが、研修1で行った「県立図書館」の支援をもっと積極的にPRして

いかなければならないと感じます。

今後も、多くの研修を受け入れ、より実践的な力を伸ばす研修を行っていきたいと思います。



- 問1 あなたの教育課題に対応した研修内容でしたか。
- 問2 研修資料（テキスト・掲示物・投影等）は、わかりやすいものでしたか。
- 問3 研修プログラム（講話・演習・発表・協議等）は満足できるものでしたか。
- 問4 研修日程の構成や時間配分は適切でしたか。
- 問5 伸ばす資質の向上に役に立ちましたか。
- 問6 今後の教育活動に活かせそうですか。

全ての項目において、「評価できる」という評価をいただきました。特に「今後の教育活動に活かせそうですか。」の問いには、高く評価できると答えた人が75%と高い数値をいただきました。

ですが、「研修日程や時間配分」に関してはあまり高い評価をいただけていません。限られた時間の中で、どの時間をどのような内容に使い、研修を行っていくのか、今後の課題として考えていきたいと思えます。

○参加者の感想（抜粋）

研修Ⅰについて

- ・ 普段、なかなか見ることのないバックヤードを司書の方に図書館の説明を聞きながら見学ができたので、とても興味深かったです。
- ・ 大変わかりやすく分類・展示・配架されているなどといった印象でした。棚の見出し、天井からつるされた案内等、工夫を感じました。
- ・ もう少しゆっくり見学できる時間があればもっと良かった。（利用者の方もおられるので難しいとは思いますが）
- ・ BM書庫の見学ができて良かったです。
- ・ 新聞の展示、保管が参考になった。

研修Ⅱについて

- ・ 学校図書館の意義や司書の仕事については、なんとなく理解しているつもりでしたが、今日改めていろいろ考えることができました。
- ・ 「司書教諭」の役割を改めて確認でき、責任を感じた。県立図書館の展示方法、管理方法等学ばせて頂いたことを生かしたい。
- ・ 改めて学校図書館の意義と役割について学ぶことができたのでとても良かったです。
- ・ 教諭という司書とは違った視点でのお話でとてもためになった。もう一度、自分でも学習指導要領を振り返ってみたいと思う。
- ・ 学校司書の仕事など、具体的にわかりやすく話してくださり、今後に役立てていきたいと思えます。
- ・ 法的、社会的に必要性があるとわかりこれからの力になると感じた

研修3について

- ・同じ状況の先生たちとお話しができてとても勉強になりました。
- ・レファレンスシート記録は接しやすい課題だったのでよかったが、いろんなキーワードを思い浮かべることが大切だと思った。各班の発表もとても参考になりました。
- ・レファレンスの実践研修は思った以上に時間がかかってしまいました。せっかく時間をかけて調べたことをその場で消化させて終わるのではなく、収集し自由に使用できるような取組もしたいと思いました。
- ・他校の司書の方と情報交換ができ、また選書等の講話も大変勉強になりました。
- ・実際に館内を回って実習できて良かった。他校の先生の話が聞けて良かった。
- ・学校では、レファレンス業務をする機会がなかなかなく、実際にできて良かったです。
- ・レファレンス実習や同業者の方とたくさんお話する機会はあまりないので、様々なことに気付いてとても良かったです。県立図書館の職員の方にもアドバイスをいただけて、参考になりました。

○研修に対する要望など

- ・成功したことや失敗したこと等、図書館の運営の話も聞けるといいと思った。
- ・選書、除斥についてもっとくわしく研修をしていただきたいです。
- ・ブックトーク等の研究があれば
- ・パソコン処理の実践があったら嬉しいです。今日はお世話になりました。
- ・司書の実務を見直せる研修をお願いしたいです。